

「輸出の促進の連携」 (H18.6~)

【幹事】 熊本県 商工観光労働部 国際課

【参加県】 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、山口県

目的

東南アジアや欧州への食品等の輸出を促進するため、九州・山口各県が連携して合同商談会、物産展等を開催する。

取組内容・成果

九州・山口各県が連携して海外での合同商談会、説明会、合同物産展等を開催している。

〔H29年度の実績〕

○ベトナム現地商談会

【日程・場所】

ホーチミン会場：平成29年11月13日(月) ホテルエクアトリアル

ハノイ会場：平成29年11月15日(水) ロッテホテル

【参加企業】 19社

【参加バイヤー】 51社(ホーチミン:28社、ハノイ:23社)

【内容】

ベトナムにおける南北の2大消費地であるホーチミン及びハノイにおいて、現地バイヤーを招き、商談会を開催した。



ホーチミン商談会



ハノイ商談会



各県PRコーナー

○ベトナム現地視察

【日程・視察先】

平成29年11月12日(日) イオンモールタンフーセラドン、サイゴンセンター

平成29年11月14日(火) JETROハノイ、タイムズシティ

【参加企業】 19社

【内容】

JETROから現地最新情報のブリーフィングや日系スーパー等の視察を行った。



現地視察

今後の課題・取組

表裏一体の関係にある観光と物産について、販路拡大を効果的に進めるうえで、連携して取り組んでいくことが必要。その上で、オール九州として、さらに各県が連携を図り、九州の食品等の輸出促進のため、各企業が海外展開支援の充実を図っていくことが重要である。

(平成30年度予定)

- ・ 北米における輸出促進の取組み